

令和4年度
公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会
臨時会員総会議案書

目 次

総会開催通知	1
総会次第	2
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和5年度事業計画案	3
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和5年度収支予算案	5



令和5年2月15日

会員各位

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会
会 長 神山 清志
(公印省略)

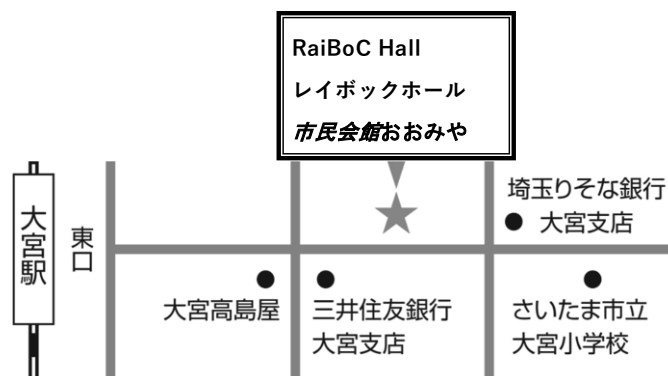
令和4年度 臨時会員総会開催通知

定款第14条の規定により下記のとおり令和4年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会臨時会員総会を開催しますので会員各位の出席を要請します。

記

日 時 令和5年3月16日（木曜日） 午後6時30分から

場 所 RaiBoC Hall（市民会館おおみや）小ホール（7F）
さいたま市大宮区大門町2丁目118



令和4年度臨時会員総会次第

開会の辞

- 一、 開会の辞
- 一、 会長挨拶
- 一、 各種表彰
- 一、 議長選出
- 一、 議長挨拶

一、 総会役員選出

- (1) 資格審査委員、議事運営委員任命
- (2) 書記任命
- (3) 議事録署名人任命

一、 議案審議

- (1) 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和5年度事業計画案
- (2) 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和5年度収支予算案

一、 総会役員および書記解任

- 一、 議長挨拶
- 一、 閉会の辞

第一号議案 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和5年度事業計画案

公益社団法人埼玉県臨床検査技師会は、職能団体としての誇りを高く掲げ、県民の医療、健康増進の向上、公衆衛生の普及にこれまで以上に積極的に取り組んでいく所存である。今後も厳しい医療環境が予測されているが、会員や賛助会員にご支援、ご協力を賜り、無理のない計画を最小の予算で最大の効果が得られるような技師会活動の運営に努める所存である。

ここに、令和5年度の事業計画を提案する。

《事務局関係》

1 会員総会

会員総会は、本会の事業内容の決定、ひいては本会の将来をも決定する重要な会議であり、会員に事業内容を理解していただく数少ない機会である。そのために交通事情や時間を考慮した会員が出席しやすい総会を計画し、多くの会員が参加できるよう努めたい。また、下記の日程で開催を予定する。

(1) 定時会員総会：令和5年6月9日(金)に開催し、令和4年度の事業報告・決算報告を行う。

(2) 臨時会員総会：令和6年3月に開催し、令和6年度の事業計画・予算審議を行う。

2 会務体制

基本的には令和4年度の事業を踏襲し、また、各種の委員会を通じて会員の意見が反映できるような会務を行う所存である。

事務所にはコンピューターをはじめ事務機器が整備されており、各部署に効果的に利用してもらいと共に、会員の要望に応えるべくさらに充実させたい。また、理事・研究班員・各委員の任期歴や永年会員表彰に関する事項を把握し、会員情報を正確に処理するよう努めたい。さらに、令和5年度も会務の内容、各委員会の委嘱、公益事業及び機関紙の発送について万全を期したい。

事務局の業務量も増加しているが事務職員との協力で会務が滞ることなく迅速に処理し、会員の要望に応えたい。

3 諸会議

(1) 理事会および常務理事会：理事会は定期開催とし、常務理事会は必要に応じて開催する。効率化の面から会議数の削減を図り、Eメールおよびオンライン会議を活用し、諸問題に迅速な判断が下せる会議としたい。

(2) 委員会：必要に応じて開催し、各問題について専門的に検討し対応したい。

4 表彰および表彰者推薦

永年会員表彰をはじめ埼玉臨技の活動に貢献した会員については、会員表彰規程に基づき各種表彰、推薦をする。公的な表彰について該当者を把握し、積極的に推薦したい。

5 固定資産、備品の整備について

必要に応じた設備機器を適時に更新または補充して、会員の便宜を図れるように、安心して使用できるように充実させて、維持管理したい。

《組織対策および会員相互の親睦交流会の開催》

1 入会対策

新入会員向け研修会をはじめ、生涯教育研修会・講演会や精度管理事業においても入会を勧めているが、さらに広報活動を通じて入会案内を行いたい。

また、当会と埼玉県内の臨床検査技師養成校との連絡を密にするために臨床検査技師養成校連絡協議会を通じ入会対策を促進し、卒業後の学生が入会を希望できるようにしていきたい。

2 人材登録制度の推進

会員相互の求人・求職の紹介を継続し、日臨技と連携を図り、会員のニーズに応えたい。

3 親睦交流会の開催

感染症の流行状況を注視しつつ会員、賛助会員の交流と情報交換のため賀詞交歓会等を計画する。ワークライフバランス推進委員会、青年部委員会を通じ、会員相互の交流の場となる研修プログラムを企画したい。

《公益目的事業について》

1 衛生思想の普及及び啓発に関する事業

(1) 生活習慣病対策等の啓発活動

(2) 臨床検査に関する相談コーナーの開設：日臨技委託公益事業である全国「検査と健康展」の開催時に開設し、県民の医療、健康増進の向上を図りたい。

2 地方公共団体等が主催する地域保健事業の推進に関する事業

健康まつり、糖尿病予防週間等については新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み参加を決定する。

3 臨床衛生検査に関する調査、研究開発及び情報の提供に関する事業

(1) 精度管理事業：埼玉県医師会より受託して行う本事業は、来年度で 35 年目を迎える。精度管理委員会、各研究班の 34 年間のデータをもとに分析された各種の問題点を、研究班活動などを通じて積極的に解決すると共に、サーベイ試料についてもさらなる検討を重ね改善を図る。また、県民の医療を担う基本的立場にたって、本事業に参加していない県内医療機関に対して参加を呼びかけ、精度の向上を図るとともに施設間差是正と標準化の普及を推進する。

(2) 情報発信ツールの充実：令和 5 年度も各種事業の報告について掲載し、速報性を重視し充実させたい。また、情報公開法に基づき、事業・財務等に関する資料も掲載できるよう整備したい。

(3) 埼臨技精度保証施設認証事業：日臨技精度保証施設認証制度について、県内施設に啓発を行い、多くの施設の認証が受理されるよう努力したい。

(4) 調査研究活動：CD-ROM もしくは Web を用いた生理部門サーベイを継続して行いたい。

4 臨床検査技師及び衛生検査技師の教育その他資質の向上に関する事業

(1) 生涯教育研修事業：埼臨技の学術活動の中核をなす部門別検査研究班は、令和 4 年度より遺伝子染色体検査研究班が新たに設立された。11 の研究班により研修会、講習会の企画運営および調査研究を実施したい。多くの会員が参加しやすく、生涯教育制度の履修を考慮した内容で企画するよう努力し、技術の進歩に対応できる学術活動を目指したい。新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、令和 2 年度途中より開始したオンライン研修会も選択肢として維持していきつつ、可能であれば現地集合型開催も行うよう調整していきたい。また、研究班運営委員会等で運営面の要望や問題点を取り上げ、研究班の統合も必要に応じて視野に入れ検討していききたい。

(2) 講演会：検査、医療をとりまく諸問題に関する講演会、研修会を実施したい。

(3) 検査室管理運営研修会：検査室運営に関わる諸問題の把握や情報交換を目的に全会員を対象とした研修会や講演会を実施したい。

5 機関誌の発行

近年、論文投稿数が減少傾向にあるが、様々な機会に投稿の呼び掛けを行い、埼臨技会誌を年 3 回 Vol.70 No. 1 (通巻 198 号) から No. 3 (通巻 200 号)、および学会特集号である補冊の発行を実施したい。

6 第 51 回埼玉県医学検査学会の開催

臨床検査技術の向上を目指し講演会や研究発表を中心に学術的な意見交換の場として充実した学会を開催する。会員一丸となり学会の成功に向け努力したい。

会 期 令和 5 年 12 月 3 日 (日)

会 場 大宮ソニックシティ (予定)

学 会 長 矢作 強志 (川口市立医療センター)

7 日本臨床衛生検査技師会から委託される公益事業および関連事業

全国「検査と健康展」の地方会場 (予定)、都道府県リーダー育成研修会、支部研修会の開催、検査データ標準化事業、タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 (1~2 か月に 1 回) 等の実施を積極的に行う。

《収益事業等について》

1 埼臨技だよりを、毎月 15 日、527 号から 538 号を発行する。

2 生涯教育研修プログラムを 2 ヶ月単位で年 6 回の発行を行う。

3 会員名簿を作製する。

科 目	公益目的事業会計							収益事業等会計			法人会計	合計		
	公1	公2	公3	公4	公5	公6	公7	共通	小計	収1			他1	小計
管理費													3,453,501	3,453,501
役員報酬													0	0
給料手当													756,000	756,000
法定福利費													56,000	56,000
会議費													500,000	500,000
旅費交通費													300,000	300,000
運営費													350,000	350,000
通信運搬費													450,000	450,000
減価償却費													101,499	101,499
消耗什器備品費													14,000	14,000
消耗品費													150,000	150,000
印刷製本費													30,000	30,000
光熱水料費													28,000	28,000
賃借料													110,000	110,000
保険料													14,000	14,000
諸謝金													0	0
委託費													554,400	554,400
租税公課													35,000	35,000
雑費													4,602	4,602
経常費用計	564,000	164,000	1,017,000	2,232,000	1,616,000	7,080,000	512,000	5,756,249	18,941,249	76,750	2,798,500	2,875,250	3,453,501	25,270,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 14,000	△ 14,000	△ 17,000	△ 13,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 12,000	△ 17,119	△ 113,119	240,450	613,500	853,950	259,169	1,000,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 14,000	△ 14,000	△ 17,000	△ 13,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 12,000	△ 17,119	△ 113,119	240,450	613,500	853,950	259,169	1,000,000
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
(該当なし)														
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用														
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 14,000	△ 14,000	△ 17,000	△ 13,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 12,000	△ 17,119	△ 113,119	240,450	613,500	853,950	259,169	1,000,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73,067,291
一般正味財産期末残高	△ 14,000	△ 14,000	△ 17,000	△ 13,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 12,000	△ 17,119	△ 113,119	240,450	613,500	853,950	259,169	74,067,291
II 指定正味財産増減の部														
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 14,000	△ 14,000	△ 17,000	△ 13,000	△ 16,000	△ 10,000	△ 12,000	△ 17,119	△ 113,119	240,450	613,500	853,950	259,169	74,067,291

第二号議案 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 令和5年度収支予算案

＜予算編成にあたって＞

公益7事業（衛生思想の普及と啓発、地域保健事業、検査の調査研究及び情報提供、倫理の高揚と資質の向上、埼臨技会誌発行、埼臨技学会、日臨技から委託される公益事業）および収益等2事業（調査研究成果に対する使用料の徴収、埼臨技だより発行）ならびに法人管理費について予算を配分した。新型コロナウイルス感染症の動向が収入・支出にも影響を及ぼすため、令和4年度に引き続き考慮したうえで予算作成にあたった。これらにより事業比率は、公益事業75.0%、収益等事業11.4%、管理費13.7%となる。以下、予算編成の要点を示し、令和5年度予算として提案する。

＜収入＞

当会の主な財源である正会員費については、会員数が着実に増加しており3,400名と想定し1,700万円を計上した。賛助会員費は、令和4年度の実績から70社を想定し140万円を計上した。広告収入は、埼玉県医学検査学会の令和3年度、4年度の実績から107万円を計上した。

受託事業および関連事業は、全国「検査と健康展」（地方会場）、生涯教育推進研修会、埼玉県医師会精度管理事業等の受託による355万円を計上した。

事業収益の研修会収入は、生涯教育研修プログラムへの参加促進のため令和2年度より会場整理費を無償としている。研修会はWeb開催が多い中、感染対策に配慮した実技研修の開催予定も増加しており72万円を計上し、収益合計は、2,627万円とした。

＜支出＞

令和4年度の決算見込みを鑑み、令和5年度の事業計画に沿って予算配分を行った。

日臨技との共同事業および関連事業である全国「検査と健康展」（地方会場）、「都道府県リーダー育成研修会」は継続開催に向けての予算措置を行った。

令和4年度同様、5年度も埼玉県医学検査学会は現地開催予定で予算措置を行い、708万円を計上した。

法人会計は会員数の増加、新たな受託事業等、業務量が増えているが、最大限効率よく事務作業を行うことで昨年度と同等の予算措置とした。

埼臨技事務所の次期修繕、建替え、新規取得に対応するための準備金として毎年100万円積み立てている。この積み立ては令和元年より行っており、5年目となる。

これらにより公益目的事業費が1,894万円、収益事業費は288万円となった。各事業費率は、公益事業費中の、衛生思想の普及と啓発2.2%、地域保健事業0.7%、検査の調査研究及び情報提供4.0%、倫理の高揚と資質の向上8.8%、会誌発行6.4%、埼臨技学会28.0%、日臨技から依頼される公益事業2.0%、公益共通22.8%、計75.0%、収益等事業中の、調査研究成果に対する使用料の徴収0.3%、埼臨技だより発行11.1%、計11.4%、法人管理費が13.7%となる。

令和5年度 投資活動支出

(単位:円)

科目	年度	摘要
	令和5年度期末見込	
事務所新規取得（建替）積立金取得支出	2,500,000	事務所新規取得（建替）積立金
大規模修繕積立金取得支出	2,500,000	大規模修繕積立金

埼臨技事務所修繕・改修、新規取得（建替）資金の積み立てについて（令和元年度より）

	上限金額	年間積立金額	備考	期間
1. 修繕・改修	500万円	50万円		10年間
2. 新規取得	2000万円	50万円	11年目以降100万円/年	25年間